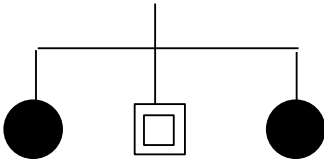


相談援助事例

無料低額宿泊所 よりそい処「尽心庵」活用例

事例 No. 2	自宅が全焼した為、住居の一時確保を支援				地域	Y市→尽心庵→Y市	
主な対象者	性別	世帯の特徴	■ 高齢	□ 児童	□ 母子・寡婦	□ 身体障がい	□ 知的障がい
	男		□ 精神障がい	□ 外国籍	□ ホームレス		
	年代		□ 虐待	□ DV	□ 引きこもり	□ 病気	□ アルコール依存
	70代		□ 認知症	□ 多重債務	□ 各種滞納	□ 無収入	□ 生活保護
	世帯		■ その他(被災)			□ 不就労	
高齢単身							
紹介経路	Y市地域包括支援センター						
相談内容	<p>平成●年9月2日昼頃、本人と実姉と二人暮らしをしていた自宅から出火全焼。</p> <p>要介護状態であった姉は死去、本人は外出中で無事であった。</p> <p>姉のケアマネジャーから当法人の無料低額宿泊所『尽心庵』に一時居場所確保の依頼。</p>				<p>家族関連図</p> 		
対応 (相談・支援の内容)	<p>9月2日火災当日夜はY市のビジネスホテルに宿泊。翌日9月3日現場検証立合後に無料低額宿泊所「尽心庵」に入所となる。</p> <p>自宅が全焼し姉を亡くしてしまった事に、憔悴しきっておられ、入所後は熟睡できていない様子であった。連日、バスでY市の自宅や市役所に出かけられ、事故後の対応に追われておられた。</p> <p>9月4日宿泊所への帰宅途中に、転倒され額を切傷ができ病院受診となる。その後、病院への送迎を通じてCSWと距離が縮まり心情を語られるようになった。</p> <p>所持金もあり、金銭面での援助は不要との事であった。</p> <p>9月11日 Y市の緊急避難所として市営住宅への一時入居となり、退所される。</p>						
社会資源の活用	無料低額宿泊所を活用						
経済的援助	無料低額宿泊所 9/3～9/11の宿泊料8,000円を施設で支援。						
連携機関	Y市役所、Y市地域包括支援センター、社会貢献支援員、CSWと連携						